

第10回 木と暮らしのフェア参加の報告

日田支部広報部長 秋 和夫

平成30年12月9日の午前10時から午後4時まで、パトリア日田に於いて、「日田地域林業・木材産業活性化協議会」と日田市主催の『第10回 木と暮らしのフェア』に大分県建築士会日田支部は後援としてブースを開設し参加致しました。平成30年度公益事業の一環として、日田支部は木に関わる事業の業種として毎回参加しています。昨年同様、今年も開催当日も、ものすごく寒い日だったので、来場者の減少を心配していましたが、思いのほか多くの方々に来ていただきました。建築士会のブースは折り紙建築、端材プレゼント、建築相談を行いました。

今の職人さんは、殆どが電動工具を使用しておりますが、昔からの使っていた加工道具も展示されておりました。士会員の梶原宏一君が、釘を使わずに材木を仕口のみで組みあげた「ねこの家」を試作しており、ちょっとした人気でしたが、改良を重ねて量産販売していければ産業の活性化に役立つのでは？との事でした。



<会場の様子>

折り紙建築は、毎年、小学校高学年対象に開催しており、保護者の参加も多数ありました。刃物をあまり使わなくなった現代の子どもにスタッフは、ヒヤヒヤさせられたようですが、親子にとってはいい経験だったようです。



<折り紙建築ブースの様子>



建築相談は1組でしたが、真剣に相談されておりました。今回は、ツーバイフォー住宅に関する事で、ブロック基礎についても相談がありました。

最後に、今回のフェア開催にスタッフとして協力して頂いた会員の方々は準備と片付け作業と一日にわたりご苦労様でした。